

1 4 番 皆さん、こんにちは。

通告5番、14番議員、鈴木武夫でございます。

私は、通告に従い、間宮町長が12月の選挙で町民に公約した5つの決意について、御質問をいたします。

間宮町長は、5回目にして、初めて直接民主主義により大井町町長に選ばれました。このことは、町長の町政に対するやる気に対応するものであります。

私は、町長を選んだ町民を代表して、町長が公約された政策について、御質問いたします。

質問以外にも重要な公約もありますが、時間も限られておりますので、次回以降に御質問いたします。

また、質問項目が大変多いので、同僚議員の一般質問と重複している質問の御答弁は簡単をお願いいたします。

それでは、次の5項目について、御質問いたします。

1項目目、今を生きる町民の万全の備えのための政策について、次のことをお伺いいたします。

1、防災拠点になる公園、広場はどこにつくるのか。また、つくる時期はいつなのか、お伺いいたします。

2項目目、町の将来を担う子どもを育むための施策について、次のことをお伺いいたします。

1、小児医療費助成制度を中学生までに拡大する時期はいつなのか、また、中学生までに拡大したときの予算金額をお伺いいたします。

2、0歳児保育や病児・病後児保育はいつから実施されるのか、お伺いいたします。

3、小学校校舎の大規模改修は、いつごろに着手するのかお伺いいたします。

3項目目、町民の健康寿命を延ばすための施策について、次のことをお伺いいたします。

1、町民が期待している、パークゴルフ場はどこにつくる予定なのか。また、その建設時期は、いつなのかお伺いいたします。

2、町の総合体育館、総合グラウンドの充実を図るとは、具体的に何をされることなのかお伺いいたします。この質問には、同僚議員が質問して御答弁されていますが、補足答弁があれば御答弁をお願いいたします。

4項目目、町民の暮らしの質を高めるための施策について、次のことをお伺いいたします。

1、和田河原・開成・大井線の全線開通は、いつになるのかお伺いいた

します。

5項目目、人口減少の対策について、次のことをお伺いいたします。

1、金子吉原地区土地区画整理を実現し、若者の定住化を進める施策をお伺いいたします。

以上、5項目についてよろしく御答弁をお願いいたします。

町長 通告5番、鈴木武夫議員の町長選で公約しました、5つの決意に対して、ここで問われたわけでございます。

5項目、再度に渡っての点もあろうかと思いますが、順次御答弁をさせていただきます。

防災拠点になる公園広場はどこにつくるのかというような御質問でございますが、公園につきましては、現在進めております、大井中央土地区画整理事業区域内への整備を計画しておるところでございます。

本年度は、整備への第一段階であります、計画条件の整備や計画内容の検討、方針の決定など、公園整備基本計画の策定に取り組んでおるところでございます。

この区域は、役場庁舎や総合体育館など、行政施設が近接しておるところでございます。近いところでございます。

いわゆる行政核に接してつくろうというような考えでございまして、災害発生時には、一時避難場所や、また各施設と連携した活用など、防災拠点の役割について検討したり、また通常は、都市公園として、町民の皆さんのレクリエーションや憩いの場として活用できるように、計画の検討を行っておるところでございます。

今後は、町民の皆さん方の御意見を伺いながら、基本設計、詳細設計を行うとともに、設計業務と並行して、公園整備に必要な用地の確保を図り、その後整備に取り組んでいくというような流れになろうかと思っております。

このように、現時点では、計画策定中であり、区画整備事業と並行して進めることとなりますので、整備の時期については、具体的に決まっておりますませんが、区画整理と同様に、おおむね7年後の整備を目途に取り組んでまいりたいと考えておるところでございます。

また、この公園整備は、同地区で進めておるところの大井中央土地区画整理事業にも大きく貢献できるものと考えております。子どもさんから高齢者まで、幅広く利用できる、町民の皆さん方に楽しんでいただける公園を目指してまいりたいと考えておるところでございますし、また、この公園が、区画整理のそこへ定住促進を図る意味でも、機能として、高く評価されるように努力をしてまいりたいと思っておりますので、また、御意見等があればお寄せいただければとお願いするところでございます。

2点目の御質問でございますが、既に、曾根田議員にお答えをさせていただきましたので、予算金額については、再拡大後の助成額の想定といたしましては、平成27年度予算ベースで試算いたしますと、未就学児が対象900名に対しまして、3,450万円、就学児のうち小学生が対象1,100名に対して、3,470万円、中学生が対象600名に対しまして、約1,900万円となり、全ての対象2,600名に対する助成額合計は、約8,820万円というような見込みを立てておるところでございます。

このうち、県助成対象となるのは、未就学児の入院、通院及び就学児の入院、いずれも所得制限以下の対象者分として、約1,590万円と見込んでおるところでございます。

差額7,230万円が一般財源からの支出となる見込みで読んでおるところでございます。

また、これらに係る医療機関等への事務支払手数料は、未就学児で約440万円、就学児のうち小学生で約290万円、中学生で約160万円、全体で890万円程度と見込んでおるわけでございます。

これに対する県助成が40万円等であることから、差額は850万円になると、一般財源からの支出になろうかというふうにとらえておるところでございます。

また、扶助費、手数料合わせますと、9,710万円程度の事業となり、うち一般財源からの支出が8,080万円、大よそでございますが、そんな事業の見込みとなろうかと考えております。

これは、同じ子育て支援の主要事業である、児童手当に係る支出が、平成27年度予算要求ベースで3億2,100万円程度、国県の交付金が2億7,100万円程度、差し引き5,000万円程度が一般財源の事業となっていると考えましても、町負担といった部分は、既に小児医療費助成が、児童手当を上回る大事業になるというような状況を見込んでおるところでございます。

次に、質問事項の2項の0歳児保育等の開始時期についてでございますが、0歳児保育につきましては、対象児童が、4月1日現在で、0歳の場合は、町立の大井保育園においては、満1歳になる月からということもございます、私立の栄光愛児園においては、生後2カ月から保育を実施していただいておりますというような状況にあるわけもございます、一方、民間事業者等の育児休業制度は、期間を拡大する方向で普及しつつありまして、一定のニーズはあるものの、0歳児保育の入所希望者数が大幅に増加するということは、想定しがたいものでありますが、これらの対応をしていく必要があるんじゃないかと、将来に向けて、そんな考え

を持っておるところでございます。

これらの中で、栄光愛児園においては、0から2歳児の受け入れを拡大するための分園を平成27年度に建設の計画がされ、町では、その建設費の一部を国、県の補助金も活用しながら、支援することといたしました。

これにより、平成28年4月より定員枠がふえる形で、0歳児保育の充実を図ってまいろうというようなことでございます。

また、病気や病気回復の児童を保護者の就労等の理由で、保育ができないときに、保育施設で預かる病児・病後児保育につきましても、一定程度のニーズがあるものと見込まれておるところでございます。

特に、インフルエンザ等で、回復されてもある程度の期間、登園できないというような状況にありますので、これらを何らかの手だてを講じていく必要があろうかと考えて取り組むところでございます。

また、病児・病後児保育事業の実施につきましては、保育場所の確保、また、看護師、保育士の確保が最低限必要であります。

また、小児科医に何らかのときはお願いするというようなこともあるわけございまして、それらを合わせまして、町単独で事業を展開するには、負担も大きいものとなることから、平成27年度中に、上郡の他の町と連携調整を行い、できることなら、平成28年度事業開始をしていきたいと、そんな考えではありますが、小児科医の問題だとか、場所の問題をどこにしたらいいか、そういうふうなことも、財政的な面も考えた中で、できることなら平成28年度開始に向けて取り組みたい、そんな考えでございます。

ここへの要望というのは、既に声も上がっておりますので、早く取り組みれば、またこんなところも御協力を、また御理解を願いたいとお願いするところでございます。

次に、3点目の小学校の大規模改修はいつ着手するかというような御質問でございますが、御案内のとおり、湘光中学校の大規模改修工事が、平成27年度で一通り完了いたします。

残る教育施設の現状に目を向けますと、中には、老朽化が著しいと言わざるを得ない施設もある状況となっております。

特に、3小学校の校舎においては、耐震化の手だては講じてあったり、また、トイレ改修等も既に行わせていただいているわけでございますが、築後30年以上が経過しておるわけございまして、施設の安全性を維持し、かつ長寿命化を図る観点から、また、良好な教育場所の確保というような観点から、改修工事を求められているところでございます。

そこで、平成27年度に、建築アドバイザーによる、施設の現状調査を実

施いたし、その助言を参考にしながら、学校施設改修計画を策定する予定とくいような運びでございます。

これは今後10年を見据えた中で、改修工事の優先順位を明確にするるとともに、町が執り行う事業全体とのバランスを図る目安として、また、策定をしまいたいというようなことでございます。

大体、同時代に3小学校が、今の鉄筋化になったというようなことでございますが、この辺の判断が微妙じゃなかろうかなというように考えておりますので、建築アドバイザー等の意見も聞かせていただくというようなことでございます。

今後は、この計画に基づき、改修工事を進めていきたいと考えているところでございますが、工事を着手するためには、当然設計が必要となつてまいります。設計業務も相当の時間と経費が見込まれますので、平成28年度には、設計に取り組み、その後、順次工事に向けて、いろいろなスケジュールを立ててまいりたいというように考えているところでございます。

何はともあれ、今日のような温暖化になってまいりますと、やはり学校教育の現場においても、エアコンの設置というものが必要なものじゃなかろうかと考えますので、それらを考慮した中で、やはりここで順次やっていかざるを得ないじゃなかろうかと、そんな考えでございます。

3つ目の御質問でございました、伊田議員への回答と重複するところもあるわけでございますが、御質問につきましては、従前の候補地のみならず、丘陵地、平坦地にこだわらず、先ほどの答弁にもありましたように、適地の条件を視野に入れながら、検討を重ねて、今日まできたわけでございますが、現段階では、適地が決まっております。

これらの条件に合うような候補地を選定し、選定の段階でもぜひ議会の皆さん方、また、ゴルフを同好される皆さん方の御意見も聞いた中で、候補地として適地を判断してまいりたいと考えているところでございます。

そういうことで御理解を賜ればと。

詳細の2つ目でございますが、総合体育館、グラウンドの充実を図るにはということでございますが、両施設につきましては、今までも多くの個人・団体から御利用していただいているわけでございますが、これからもさらなる向上を目指してまいりたいと考えているところでございます。

経年劣化に伴うところの施設設備の改修が大きな課題となっております。

また、開設当時からみますと、スポーツに対する考え方も変化してきておまして、将来的な施行も踏まえた上で、より多くの技術に対応できるよう、施設運営が求められておるわけございまして、このようなことか

ら、効果的、効率的に町民サービスに対応できる体制、いわゆる、また指定管理者制度も視野に入れ、ときには、抜本的な手法も含め、計画的に行ってまいりたいと考えるわけですが、特に、総合グラウンドの先ほど答弁もいたしましたように、平日の利用が少ないというようなところを、今後どういうふうな方法を持って対応したほうが、利用者が多くなるのかというようなことを、ここが一番大きな課題じゃなかろうかなと思いますし、周辺のまだ、過去のゲートボール場の跡地等もありますもので、これらも有効に活用できるような方策を考えていかなければならないんじゃないかなろうかと、そんなことも考慮に入れた中で、このような提案といたしますか、決意をさせてもらったわけですが。

4点目の和田河原・開成・大井線の開通はいつごろになるかというような御質問ですが、平成26年3月に、足柄紫水大橋が開通いたしましたから、ちょうど一年が経過するわけですが、酒匂川をへだて、足柄上地域を東西に結ぶ交通は、混雑もなく大変円滑になったものと感じるところでございます。

この路線の東側、県道711号から国道255線までの区間につきましては、本年度に、神奈川県により測量、土質調査が行われており、また、合わせて予備設計が行われるところであり、整備に向けて第一歩を歩み始めたというようなところでございます。

神奈川県によりますと、今後の計画としまして、順調に進めば、平成27年度以降に詳細設計に取り組み、平成28年度に用地測量を行い、平成29年度から用地取得を開始いたし、平成31年度以降に工事を発注する計画であると伺っておるところでございます。

現時点での具体的な全線開通の予定は、未定であると聞いておりますが、町といたしましても、一刻も早い全線開通のため、引き続き神奈川県と連携し、事業の促進を図ってまいろうというようなことでございます。

なお、沿線上には、既に、住宅にお住まいの方もおられますので、これらの方々への理解もしていただかなければならないこととございまして、この辺のところは、特に、町が鋭意努力していかなければならないことじゃなかろうかなと思いますし、これらの解決が一番重要になってくるんじゃないかなろうかと考えております。

また、合わせて、この事業には、南足柄、開成、大井町、1市2町で構成します、都市計画道路、和田河原・開成・大井線建設促進協議会により、引き続き、早期整備についての要望活動を行ってまいりたいと考えております。

なお、南箱道路の2020年までにというようなことで、県も整備に向けて

取り組み始めました。

そうしますと、現在の大井・関本・御殿場、県の御殿場線の入ってくるのも多くなろうかと思っておりますので、さらに道路の建設を早期にやっていたら必要があろうかと、そんな声も出ささせていただいておるところでございます。

5点目の金子吉原地区の区画整理の実現に向けて、若者の定住を進める施策を伺うとの御質問でございますが、昨年、民間の政策発信組織であります、日本創成会議が公表しました、消滅可能性都市に、当町が上げられたことは、議員も御存じのとおりであります。

人口減少や少子化、高齢化は全国的な課題であり、各自治体でこの課題対応についての取り組みを強化している状況にあります。

自治体間の競争は、さらに激しくなってくるものと受けとめておりました、こうした中、平成21年の第6回線引き見直しにより、特定保留区域に設定されました、金子吉原地区につきましては、計画人口を約1,000人、住宅戸数約330戸というような計画のもとに、大井中央土地区画整理事業を実現することにより、定住者の確保、町の活性化につなげなければならないというように考えておりました、先にも述べましたとおり、この区画整理事業に合わせて、公園の整備もし、また、快適、また、安全安心なまちづくり等を考慮した中で、また、さまざまな子育て支援策等も総合的に実施することにより、若い世代の方々に住んでいただけるようなまちづくり施策をしていく必要があるというような考えを持ち合わせ、小児医療費の助成等も取り組んだものでございまして、さらに、大井町の魅力を高めるまちづくり施策を行って、定住化の促進を図ってまいりたいと思っておりますし、大井町では、この足柄上郡5町でない、いろいろな教育の施設等もあるわけございまして、これらも大きくアピールしていく必要があるんじゃないかなろうかというように考えるところでございます。

何はともあれ、新しい時代のうねりがなっておりますので、それらにこうして対応してまいりたいというような考えをもとに、これらの事業展開をしていきたいと、そんな気持ちでありますので、これからも御理解と御協力、また、御示唆等を頂戴できればとお願いしまして、答弁とさせていただきます。

1 4 番 再質問させていただきます。

私は、ここに座るのは初めてでして、目線が何か違って、どこを見たらいいかわからなくて、今、上のほうを見て下から見ると、皆さんがどこにいるかよくわからないのですけども、一生懸命質問をしたいと思っております。

今、いろいろ御答弁されました。その中で選挙の公約ということで質問

しておりますので、その、あの何個ほどか結構ありますね。あれを、公約全てだと思うのですが、公約はしなければいけないと私は思うのです。ただしまたではなくて、するものだと思っています。その中で、多分これから、平成27年度予算にも多分公約などが反映されていると思いますけども、その先の平成28年度からの大井町の総合計画、後期基本計画、また後期の実施計画の中にもそういうのが盛り込まれるべきだと私は思いますが、それについていかがでしょうか。

町長 当然そのような計画づくりにしておりますし、先ほど細田議員の国の国家戦略の中にもそういうものを入れてまいりたいというようなことで、今準備をしているところでございます。

1 4 番 わかりました。ぜひとも必ず具体的なところまで入れていただくと大変ありがたいと思います。

では、まず再質問の中で1番からいきますけれども、飛ぶ場合もありますのでよろしくお願いします。順番にいくかどうかわかりませんので。そのときによって飛びますので。

まず最初は、とりあえず1番からいきますけど、公園は役場の北側につくるというふうなことで。ぜひともいいものをつくってもらいたいのですけど、現状において、今、これから平成27年度では、これから基本計画をつくられるということなのですけども、基本計画をつくる前に町としてはこういうものにしたいという指標みたいなものがあるのかどうか。それとも現段階で白紙なのかどうか。その辺をお伺いします。

都市整備課長 先ほども町長のほうから少しお話をしましたけれども、行政施設に近接するという形もありますし、規模的にも約2haという形になります。有事のときは防災的な利用を考えたりとか、それから通常は都市公園として周辺の市街地に貢献できるような、誰もが、皆さんが利用できるような、そういう公園にしたい。大体そういう方向性だけしか今のところは決めておりません。今年度は少しその内容に踏み込んで、もう少しゾーニングあたりまで調査をする予定でございます。

以上でございます。

1 4 番 わかりました。また公園については、また後で質問したいと思いますが、公園とはまた違うのですけども、私の質問の中にあるのですけども、まず公園広場というようなことがありましたので、今、その大きい公園のことですけども、もう一つ、平成27年度予算で「おらが地域の公園づくり事業」、要するに公園を全部天然芝にするという事業があります。大変いいことだと私は思うのです。もしもこれがうまくいった場合は、大井町でもほかにいっぱいあのくらいの大きさの公園がありますが、そちらのほうに展

開するつもりはあるのでしょうか。

生活環境課長 委員おっしゃいました平成27年度予算に計上してございます、おらが地域の公園づくり事業費、こちらにつきましては、市場自治会との共同によりまして金子児童公園の全面芝生化について行っていくもので、新たな試みということで、芝生化する時点から自治会の皆様と一緒に共同で行っていきたいということで、この方法で成功事例ということになれば、地域の対応にもよりますが進めていけたらなというところでございます。以上でございます。

1 4 番 わかりました。ぜひとも成功するようによろしく願います。
では、2番に移りたいと思います。2番の①、小児医療費の助成制度。先ほどは町長から答弁されていまして。その中で、課長からも平成28年度4月を一つ目途にというような話でしたけど、その財源というのが消費税を上げてというようなことなのですが、実際、今、消費税、今8%に上がっていますが、これが10%になるのは来年の早くても10月ですか、とりあえずその辺の間があるのですが、そういうのは関係なくして平成28年度4月から財源を確保して進めるということですか。それとも、10%に上がるまで待つということでしょうか。いかがでしょうか。

企画財政課長 現在、27年度予算の策定に当たっては、消費税10%ということは特に考えてございません。そこまで上がらなくても、そこに向けて準備をしていくということでございます。以上です。

1 4 番 わかりました。では平成28年4月ということで、ぜひともそういう、ちなみにこれは中学卒業までということですね。わかりました。
では②にいきたいと思います。0歳児保育や病児・病後児保育はいつから実施するのか。町長から答弁されて非常によくわかりました。これは赤ちゃんとか幼児に対してどうかという内容です、これは。でもやはり、もう一つ大事なことは、やはりお母さんの対応というのが一番、今大事で、やはりお母さんが赤ちゃんにちょっと暴力を振るうとか、そういうものがあるということで、今お母さんに対しての産前産後ケアというものが大事だというふうに言われていますけど、そういうものに対しては町のほうでは取り組まないのでしょうか。

子育て健康課長 お母さんに対するケアということで、当然皆さん母子手帳を取りにみえられます。そのときに保健師がかかわりだして、先ほどちょっとお話をさせていただいたのですが、生まれたら今度全数訪問ということをしていただいてフォローをしていきます。その中で気になるお母さん、それから家族構成等気になるころがあれば、そこからさらにほかの機関につなげてということで対応をしてまいりますので、それは既に今のとこ

ろ行っているという状況でございます。

以上です。

- 1 4 番 行っているということなのですが、この大井町の近隣の市とか町で、今やはりお母さんに対するケアというのが大事だということで、今、日本でも始まっているのですが、具体的に、俗的に言うと、マミーキャンプというのが今あるのですが、ホテルみたいな施設をつくりまして、そこにお母さんとそれから赤ちゃんが一緒に入って、お母さんがいる部屋と赤ちゃんがいる部屋はまるっきり別で、何泊か、1泊でもいいし何泊か住むということで。お母さんが母乳を与えてるときだけ一緒になるという。それ以外は全く別で、あとほかはちゃんとした人たちがそれを面倒みるという、そういう施設を近隣でつくろうという話で、多分、大井町にもまた話ができるのではないかなと思うのですが、牌が大きくないと施設がつかれないということで、ホテルみたいなやつをつくるのですが、マミーキャンプというのですが、それについては担当課で御存じないですか。

子育て健康課長 今のところ、そういったお誘い等がきていないという状況もございまずので、マミーキャンプについてはまた今後もお話があった時点で内容等を精査してまいりたいと思います。

ちょっと今、1点申し上げそびれたのですが、27年度についてはC S P研修、コモンセンス・ペアレンティングという研修を町民に広めていくということで、今まで専門職をトレーナー研修に送りまして、ここで終了がでてまいりますので、今度はこれをそれぞれお母さんたちに、要は怒らないようにとか怒鳴らない、殴らないで済むような子育てをしていきましょうと。それは、実はとても簡単なコツがありますというところで、今度はそれを町民に広めていくということの事業を展開するという予定がございまず。

以上でございます。

- 1 4 番 町長にお伺いしますが、マミーキャンプと言っていいかわかりませんが、要するにホテルみたいな所にお母さんと赤ちゃんが一緒についてという。大体3万か4万が1泊かかるのです。それに対して国と県が補助金を出して、それに町が補助金を出して、残りを個人が自費を出すという、そういうような制度なのですが、それで大井町と土地が隣接している市とか町が今、検討しているということを知っているのですが、もしもそういう話、大井町に来た場合は、要するに大井町がそういうものに対して補助金を、内容が詳しくわかっていないから、私はわかっているのですが、そういうものに対して要するに町として補助金を出す気があ

るかどうかというのを伺います。

町長 補助金を出すかどうかというようなことから問われると、なかなか御返事が難しい点があるわけですが、まずそういうようなことであれば、課長が今申したように、よく精査して、また近隣の団体とそういうことができるのかどうかというようなことを考えていく必要があるのではなかろうかなと思いますし、私ども大井町だけで単独にやろうといってもなかなかそういう施設等を確保し、維持していく上でも難しいでしょうし、またそういうようなものをどこか委託できるというようなところがあるのかどうかというようなことも検討しながら進めるべき事業の1つではなかろうかなと思います。よくその辺のところは話が来ましたら勉強させていただこうというような、そんな考えは今お答えできません。

1 4 番 わかりました。東京のほうとかある区とか、そういうある市でもう実際にやっていて、非常に好評だということでこの辺の神奈川、この辺でもまたそういうものをつくろうかというような話があるということですので、また検討していただければと思います。

2の③の小学校の大規模改修について、もう町長が答弁されたので大体わかったのですが、大体内容としては、今回中学校がいろいろ大規模改修されましたね。あのようなものをイメージすればよろしいのでしょうか。

教育総務課長 建築年度によって大分違うところもございますけれども、湘光中学校が一番古い建築年度でございましたので、例えば代表的なところで申し上げますと、サッシを全て取りかえました、湘光中は。その辺を比べますと各小学校はもうサッシはアルミ製に変わっていますので、その辺の交換は必要ないというところがございます。ただ、先ほど町長の答弁でもございましたけれども、エアコンについては各学校取り入れていく必要があるだろうと思っています。そのほか外壁がかなりひどくなってきてございますので、塗りかえている校舎もございますけれども、その辺についてはまた今後の調査によって変わってくるところがございます。あとは校舎の内壁ですとか、あるいは廊下、階段、その辺は気をつけていくべきかなと思います。ですから、その辺も調査を含めて考えてみないと、現時点で何年間で終わるというところは明言できないところがございます。

以上です。

1 4 番 ぜひともいいものをつくって改修してもらえればと思います。大分先の話ですので、早目にやればいいかなと思うのです。お金がまたかかりますからね、相当。よろしくお願ひします。

では、ちょっと先に、5のほうの土地区画整理のほうを再質問いたします。

これは、私はつくただけだと、町長は若者の定住化とは言うのですが、やはり定住化を実現するとしても余りはっきりしないので、まず、ちょっとこの場所の、ちょっと細かいことだけ担当課長に聞きたいのですけど、これ、保留地というのを処分しますね。その保留地というのは面積はどのくらいでしょうか。

都市整備課長 おおよそ1万1,500㎡でございます。

1 4 番 わかりました。大体1.1haということで。その保留地の処分というのがあると思うのですけども、今、町長の答弁ですと、今から7年くらい先に、よくわからないけど、相当先になると思うのです。そんなにならないかもわからないけど。近隣ですと開成町の今、土地区画整理をしまして、あれが聞いた話によりますと、保留地の処分を坪45万円を出していたのだけど売れないということで、今年になってから坪40万に下げたというような話があるのですけど、今の全体の予算の中でもっているのですけど、7億くらいですか、保留地の処分というのは。そうしますとこの1.1haで割りますと大体坪当たり22万くらいになるのかなと思うのですけど、果たしてそれで、現状でも27万というのが大井町の評価額になっているのに、これから先になって大変きついのではないかと思うのですけど、その辺の考え方だけお伺いします。

都市整備課長 これは処分の価格の設定をするに当たりましては、鑑定士さんに事業前の評価と事業後の評価と、いろいろ評価をしてもらいまして、その評価額はかなり高額で出ているのですけども、それでは、鈴木議員おっしゃいますように、何年か先には土地の価格が変動して、それでその価格ではないかということで、ある程度の下落率を見た金額で設定しております。それだけではなくて周辺のいろいろな不動産業者の方々からの意見も取り入れた中で設定しておりますので、事業計画としてはそういう計画で設定したという形でございます。

以上でございます。

1 4 番 わかりました。その処分はいいのですけども、その保留地を売る場合、先ほどの最初の質問に戻るのですけど、人口減少ということで、若者の定住化というようなことで、大井町に来ていただくために、保留地の処分に当たっての、それを一定の制限といいますか、若者に買ってもらうためにそれを購入する方に対して町が助成金を出すという、そういうのをすれば若者が、だから年金生活者には出さないけどある一定の若者には助成金を出してその保留地を買ってもらうとか、そういう政策も必要ではな

いかなと思うんですけど、その考えはいかがでしょうか。

町

長 土地区画整理をやらずにそんなことも、大井町は結構市街化区域がまだまだ残っております。そして一段の大規模な住宅開発をされるところは売れ足が早いとか早く購入者が見つかるのです。例を挙げますと第一生命保険会社の売却されたああいうような、それから旧来の自治体、自治会の中の市街地が連担するようなところで販売するものについてなかなかすぐ売れないというような状況があるもので、若い人に向けて販売するに当たっては固定資産税の軽減化を図るとか、そういうようなことを過去に検討した経緯もあるわけでございますが、今日の財政状況を考えますとそれがいいのかどうかというようなことも内部で議論をして、まだ時期尚早かなといいますかそんな取り組みがほかの納税者の皆さんのためにやめたほうがいいのではというような結論に達した経緯もあります。また、今後はそういうようなことも考える時期が来るのかなと思いますし、よその町のそういう住宅開発と、いわゆる格差的な、値段的な格差もあるでしょうし、また、そういうような一つの魅力だとか子育て支援だとか、また大井町の行政施設、また生涯学習の施設の充実だとか、そういうようなものを企画をされるのではなかろうかと、そういうような取り組み、一段と一歩前へ行くようなことも必要ではなかろうかなと思いますし、私の子どもも同世代におりまして東京といいますか町田あたりから大井町へ引っ越してこようと考えて、仕事の上で、そして開成町がいいか大井町がいいかというようなことで今、判断をされているようでございますが、やはり役場の窓口の対応等も含めた中で魅力あるまちづくりというようなことが転入者の心をひくというようなことではかなろうかなと思います。そういう点には我々も心して取り組んでいかなければならないように思いますし、当然目に見える格差といいますか、比べるものがない方向にできればなと思いますけど、今後の課題の1つだというような認識で受けとめさせていただき、今後また時期になるとそんなことも検討する必要もあろうかというような認識を持たせていただきました。

1 4 番

わかりました。若者に来てもらうとか定住化してもらうというのは、何もしなかったら来てもらえないと思うのです。本当に私が言っているこういうものというのは過疎の地域ではしているんですけど、ここはそこまでいっていないですけど、でもやはりいつかは消滅するかもしれない自治体と言われているのですから早いうちにやはり考えておくことは考えたほうがいいと思いますし、ですから区画整理もうまくいくし、あと大井町にも若者が来るということで、やはり土地の購入するときの助成金

またはその後の固定資産税の軽減というのは、それに対してはしっかり取り組んでいかないと、アピール部分がないと思うのです。今、町長が言われたように大井町だから大規模な開発がいっぱいあちこちにありますが、それらが競争となってくるとなかなか厳しいものがあるし、やはりその中で町だからではなくて同じ競争は競争なのですから、同じ土地を売るという、その中でやはり大井町は独自の意見をというのとは不公平かもしれないけどやはり何とか考えていただければと思います。

それでは次に4番にいきたいと思います。和田河原・開成・大井線。町長がいろいろ先ほどから説明されて大体わかりました。その中でちょっと気になるところだけをちょっと質問しておきたいと思います。

まず、区画整理地内の和田河原線の用地なのです。1億3,500万円。これは買うと思うのですが、これは県が買うのですか、町が買うのでしょうか。どちらですか。

都市整備課長 今現在、事業を県のほうにお願いしておりますので県のほうに対応してもらおう方向でいっております。

以上でございます。

1 4 番 わかりました。そうですね、1億3,500万、また町が出すというのも大変だと思いますが。その中であそこの道は県が施行するというのはわかりましたけど、その後、でき上がった後に町に移管して町道にするということによろしいのでしょうか。

都市整備課長 都市計画道路につきましては、昨年度の議会のときに町道認定をさせていただきます。これは、そのときにもお話をしたのですが、県がこの道路を事業着手に当たりまして、県道がこの地域にかなり充足されていますので、県がこの事業着手をするに当たりましては町道認定をしてそこを将来的に町が持つというような形です。ただ、先ほど言いましたけども紫水大橋もできてかなり広域的な役割が255号まで整備されれば出てきますので、そんなところを踏まえながらこれからは県にいろいろお願いをしていきたいと思っております。

以上でございます。

1 4 番 私、気がついたのですが、都市計画道路だから県道だと思ったのですが、多分開成町まで町道になっているじゃないですか。南足柄が市道で。大井町ができたなら町道で、県は足柄紫水大橋の県道と県道の間が県がもっていくという。で、県道ではないという。自分はあれだけ立派だから県道だと思っていたのですが、その中で僕は思うのですが、大井・開成・和田河原線と言っているのですが、開成町までは立派なのです。和田河原が全然だめなのです。歩道もないのです。あそこは南足柄市が整備する

予定なのですか。それともあのままなのですか。せっかく1市2町で協議会がつくってやっているのに南が全然やってくれないじゃないですか。あれに対して大井町は何か言っているのでしょうか。

都市整備課長 1市2町の建設都市の協議会の中で毎年各首長さんを初め、県のほうにお願いに行っているのですが、その中にはその先の項目も当然含まれております。それで、県のほうは一遍にはないという御回答をいただいていますので、順次こちらの、まずは大井県道711から255号の。それが全て完了してその先の話になるというような、そんな御回答でございます。

以上でございます。

1 4 番 では確認しますが、ずっとこちらから行って新しく富士フィルムまで来て富士ゼロックスのあるあの辺から道が本当に貧弱な町道みたいになっちゃうのです。あれはずっと真っすぐ行って大雄山のほうからくる県道、あそこにぶつかるところまでは将来的にはやはり広くなるというふうに考えているのですが、あそこまでを整備するというのはこの事業の内容なのでしょうか。

都市整備課長 非常に先の要件で今ここで御回答を明確にできるという事項ではないと思っておりますが、協議会の中ではその部分を含めて整備していただくようお願いをしております。

以上でございます。

1 4 番 わかりました。ぜひともよろしくお願いいいたします。

ではもう1点だけ今これで、大体わかっているのですが、御殿場線を越えるときに今の計画だとオーバーらしいのですが、御殿場線がちょっと高さがあるということでアンダーにという話も出ています。実際はアンダーとオーバーどちらになるのでしょうか。

都市整備課長 今、土木さんのほうで設計をしております、JRさんとも事前のお話、御相談をかけておりますが、アンダーでもっていくような形で協議をしております。

1 4 番 わかりました。

それでは最後に3項目めにいきたいと思っております。パークゴルフ場について、私できょうは3人目なのですが、お二人の答弁をずっと聞いているのですが、公約に言うとはすぐつくるのではないかなと思っていたのだけど、いつできるかわからないような答弁で、やらなければいけないと思うのです、これは。場所がないよとかいう話があるのですがやる気があるのだったら場所を探さなければいけないと思うのです。その中で、もしも絶対にやるということでしたら自分で探すよりも場合によっては大

井町の中から公募してもいいと思うのです。どこかいい所があったら推薦してよと。それを町の中で精査していけばいいと思うのです。それをじっくり待っていてもしょうがないと思うのですが、どこでもいい、山のほうでも下のほうでもいいですから、下のほうで、平地のほうで貸してもいいよとか言う人が出てくるかもしれない。そういう公募のほうをしたらどうかな。そうすると前向きになると思うのですが、町長のきょうの答弁だと何か後ろ向きになっているように感じたのですがどうでしょうか。

- 町長 決して後ろ向きにはなっておりませんが、長い間、用地については私自身も足を運んで見てまいりましたし、多くの方にも言葉もかけていただいております。しかしながら、丘陵地に行きますと結構起伏があるところが多いのでございまして、そして割合平たんでいいな、丘陵地においても平たんでいいなというような所、いわゆる農地法の関係の中で非常に厳しい状況の網がかかっているというようなことの中で今日に至っておりますもので、また多くの皆さん方に言葉をかけたりパークゴルフをおやりになる愛好家の方にも用地さえ見つければというようなことでお話をしてありますもので、鋭意場所を探す努力をしてみたいと考えておりますので、また議員さんのほうからもこんな場所はどうかというような御提案があれば私どもも足を運び検討してみたいと思っておりますのでよろしくお願いを申し上げますとさせていただきます。
- 1 4 番 時間がいっぱい残っているのですが最後の質問でいきます。今、いい場所があればということですが、私、いい場所を知っているのです。本当に、町長が先ほどから言われた全てを網羅している適地があるのです。そこにしたら自分は一番いいのではないかと思います。それをお伺いしますが、私は、これから計画をする区画整理内の公園です。2haの。あそこをパークゴルフ公園にすれば、全てがいいのではないかと。平地だし全てそろっているし。あれをうまく活用した防災拠点にしてもいいし。木など埋めなくていいのですから、パークゴルフ場ですから。いかがでしょう、そういうパークゴルフ公園は。
- 町長 先ほどの御質問の中にありましたように、この区画整理をする上でそこにいわゆる定住者をどうやって入っていただくかというようなことを考えますと、またその中で若い世代といいますと、パークゴルフ場はというような答えになかなか結びつかないところもありまして、そんなことも内部で議論をしたこともあるわけでございしますが、何らかの方法の中で見出せばいいなという考えは持っておりますし、今後またいろいろな意味で町民の皆さん方から広場とか公園の要望というものが多くあり

ますもので、そういうようなものをほかにも整備していくということも考える必要があります。そんな中でも含めて検討してまいりたいと思いますし、またできることならいこいの村の近くに、いこいの村、また四季の里、里山にも足を運んでいただく方々のためにもあの周辺を非常に魅力あるパークゴルフ場の候補地と考えられますし、またある程度の年齢の方で車を運転されない方は平地にあるほうがいいのではなかろうか、そういう点でのいろいろ内部のといいますか、パークゴルフ愛好家の中でも議論があるところでもございますので、まずそんなことも含めた中でいい場所を選べるように努力してまいりたいと思いますのでまたお力をお貸しいただければと、そんなことをお願いさせていただき答弁とさせていただきます。